

第 8 0 回 小牧岩崎山前土地区画整理審議会

平成 3 0 年 1 1 月 3 0 日 午前 10 時 00 分～午前 10 時 57 分

東庁舎 4 階 本会議用控室

- 議題
- 1 議事録署名者の選任について
 - 2 議案事項
議案第 112 号 尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画
整理事業における仮換地指定について
【非公開】
⇒議案第 112 号については、審議の結果、事務局案のとおり同
意されました。
 - 3 その他

出席者 平手 昇 平手 實 美濃輪 勲 平手 満昭
落合 弘 倉知 耕市 舟橋 世壯弘 永井 修
㈱トーエネック 園田 條元 安藤 和幸

欠席者 丹羽 鉄義 丹羽 鋭一 石澤 忠信 栗木 弘之

事務局 渡辺部長 小川次長 梶田課長 杉山庶務係長 馬庭換地係長
鈴木事業係長 三原補償係長 小川主査 林主事

- 三原係長 定刻になりましたので、始めさせていただきます。
- 本日は、ご多忙のところ、尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。
- 初めに、お手元の資料の確認をお願いいたします。
- ホチキスでとめたものですが、最初に審議会の日程ということで書いてございます。
- めくっていただきまして、議案第 112 号についてですが、1 ページ目、2 ページ目、3 ページ目、4 ページ目、5 ページ目、6 ページ目までになっております。続きまして、A3、1 枚で仮換地指定詳細図となっております。
- 資料は以上でございますが、もし不足の資料等ありましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
- ありがとうございます。
- それでは、渡辺都市建設部長からご挨拶申し上げます。
- 渡辺部長 皆さん、おはようございます。
- 本日は、大変お忙しい中、本審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。
- 今年度もはや 8 カ月が過ぎようとしておりますが、順調に工事も進んでおります。これも委員皆様方のご理解とご協力の賜物だと思っております。感謝申し上げます。
- さて、本日の議題でございますが、長年の課題でありました岩崎山の共有地に関する仮換地指定についてであります。また、その他といたしまして 1 点、事業報告をさせていただきます。
- 慎重なご審議をお願い申し上げます。簡単ではございますが、私の挨拶とかえさせていただきます。よろしく願いいたします。
- 三原係長 続きまして、平手会長からご挨拶をいただきますので、よろしく願いいたします。
- 平手会長 改めまして、皆さん、おはようございます。
- 本日は、何かとご多忙のところ、審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。
- また、日頃は当地区の区画整理事業に深いご理解とご協力を

賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、今部長もおっしゃいましたように、本年度も早や8カ月が過ぎ、工事も順調に進んでいるとのことです。当地区の30年度の区画整理事業工事進捗率は95%の予定と聞いております。あと約5%、いろいろな問題が残っているかと思えます。

本日の議案は仮換地指定とその他の2件であります。地区全般についても皆様のご意見を頂戴し、区画整理事業がスムーズに進行されますようお願いしまして、簡単ではございますが、会長の挨拶とさせていただきます。

三原係長 ありがとうございます。

本日の出席委員は11名であります。規定によりまして、本日の審議会は成立いたしました。

それでは、会長が会務を総理することになりますので、会長よろしくお願いたします。

平手会長 ただいまから尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理審議会を開催いたします。

本日の議事日程については、別紙でお手元に配布しましたとおりであります。

日程第1、議事録署名者の選任についてを議題といたします。お諮りいたします。選任の方法については、会長の指名により行いたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。よって、会長において指名することに決しました。

議事録署名者に、5番 落合弘委員、6番 倉知耕市委員を指名いたします。よろしくお願いたします。

日程第2、議案事項に入ります。

議案第112号を議題といたします。事務局に提案理由の説明を求めます。

〔「小牧市土地区画整理審議会議事運営要綱第9条」により非公開
内容：提案理由の説明～採決〕

平手会長 議案第112号「尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業における仮換地指定について」は、原案のとおり同意され

ました。

続きまして、日程第3、その他に入ります。

その他、何かありますか。

鈴木係長 それでは、現在行っている2号調整池の基本設計の見直しにつきまして、平成30年4月20日に開催された第79回審議会でご説明させていただきましたが、資料等を用いて補足説明をさせていただきます。前で説明させていただきます。

まず始めに、全体的な説明をさせていただきます。

赤で囲った部分が岩崎山前土地区画事業の区域となります。オレンジ色で着色している部分が1級河川原川の流域となります。

岩崎山前土地区画事業区域内で一部着色のない部分、岩崎山の周辺に関しては、1級河川合瀬川流域になります。名鉄の味岡駅周辺部分は、1級河川の薬師川流域になっております。

ご覧のとおり、着色した部分ですけれども、岩崎山区域の大部分が原川流域であります。昨年度までに1級河川の河川管理者であります愛知県尾張建設事務所によりまして、合瀬川との合流点付近から小牧高校の北側付近までが、河川改修されました。しかし、現在でも1級河川原川の大部分が未改修でありまして、流下能力は依然として不足している状況です。

そこで、下流部の水害被害を軽減するために、河川改修までの暫定措置として、事業区域内の原川流域の37%に当たる19ヘクタールからの流出量の約半分を、自才ポンプ場を経て暫定改修済みの合瀬川にショートカットして排水しております。

また、現状の原川の比流量（流下能力の流域面積当たりの流量）まで絞って流下させる計画とし、ネックポイント地点の比流量まで放流量を絞るために必要な雨水調整池を整備する計画としています。

続きまして、2号調整池の説明をさせていただきます。

現在の2号調整池は、護岸整備など暫定的な整備は行っていますが、一時的に雨水を貯めることにより、河川への流出量をコントロールする調整池としては未整備です。現状、東側から西側にトーモクさんへ向けて撮った写真です。

本年度の基本計画の見直しは、原川の最大のネックポイントでありました合瀬川合流点が昨年度までに改修され、次のネックポイントまで比流量が緩和されたため、ちょうど犬山公園小牧線との交点が一番今ネックになっている点になりますが、ここまで改修されたものですから、新たな条件で岩崎山前土地区画整理事業も流量等を再検討させていただいております。

検討内容は、緩和された比流量によりまして増加させることが可能な許容放流量を基に、既存の調整池や樋管の活用など、事業計画域外も含めた排水経路及び排水区域の見直しを行うことにより、2号調整池の必要容量を減らすことが可能となり、事業費も削減できます。併せて許容放流量の整理や計画水位などの見直しを行っていく予定です。

今後も、1級河川原川の管理者であります愛知県と協議をしながら見直しを行い、その後、地下水位などの調査を行い、最適な調整池の構造を決定していきたいと考えております。

以上で現在の進捗状況の説明を終わります。

平手会長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。

発言のある方はお願いいたします。

永井委員

時間雨量はどのくらいを想定してみえるのですか。

鈴木係長

50ミリを想定しております。

永井委員

東海豪雨等では時間雨量100ミリを超えていますよね。温暖化により、今後、雨量は減ることはなく、当然増えると思うのですが、50ミリで大丈夫ですか。難しいと思うのですが。

梶田課長

過去の確率を基に5年に1度の大雨に対応する整備となっております。昨年度、犬山市と小牧市に大雨が降りまして、全国ニュースでも味岡市民センター辺りが水没した状況が放映されました。レーダー解析によりますと、100年か200年に一度の大雨のようです。委員がおっしゃるような状況もありますが、基本的な考え方としては、流末を見ながらの整備となっております。大雨が降った場合でも皆さんの生命・財産への被害がなるべく小さくなることを考えながら整備を進めていきたいと考えております。

落合委員

勉強不足で、河川のことを教えてほしいのですが。

1級河川がそれぞれ合流するという事は、原則として安易にできないものですか。例えば、原川と合瀬川が一緒になるという事は難しいものですか。

梶田課長 現在、小牧高校の辺りで合瀬川と原川が合流しておりまして、その合流点から下は原川と合瀬川の流域を合わせた河川の大きさに計画してあります。それより上流はそれぞれの受け持つ流域の面積で整備しております。

先ほど申しました自オポンプ場へショートカットしているという部分につきましては、自オポンプ場に雨水調整池を暫定で設けて、合瀬川への負担がないような形で放流している状況です。

美濃輪委員 私の方の岩崎東は、原川が中心を走っていますが、ご存じのように原川は全く未整備で、雑草は生えているし、泥はしっかりたまっているし、以前のような大水が出たらまたオーバーフローすると思うのです。この原川は早急にやらないとまた大きな被害が出ますよ。いちばん困るのは、役所仕事は事件や事故が起きてからでないと動かない。北海道等あちらこちらで風水害があっても、大きい被害が出てからバタバタしている。この地域はもうわかっているのだから、あとは予算の関係だけでしょう。岩崎東区会館辺りが起点になるわけですが、会館自体は拡張するわけにはいかない。ご存じのように、東区は子どももそうですが、住宅もどんどん増えている。道路はきっちりできているが、新木津用水、特に原川が全く未整備と言ってもよい状態です。この辺りはもうそろそろ上のほうから手をつけないといけないのではないかと思います。どうですか。予算はやはり要求してある程度確保すべきです。県の言うとおりになっていたら、いつまでたっても予算は付かない。もう少し具体的に工事が始まるよう動いてください。お願いしますよ。

落合委員 原川の起点部と書いてありますが、昔の記憶でいくと、原川というのは泉洞寺のところから出てきて、それより先は、地元で佐久間川と呼んでいる川が新木津用水をくぐってくる。今はなくなっていますか。それともなお暗渠状態ですか。

平手副会長 暗渠ですよ。

落合委員　　そうであれば、佐久間川からの水を暗渠ではなく新木津用水に流して、原川の水量を少なくするということは、邪道で無理な話ですか。原川は普段、ほとんど流れている状態ではないのですよね。何かのときに溢れるということですから。

梶田課長　　今の原川の杲洞寺からの部分ですが、過去からサイフォンで佐久間川の水が用水の部分でくぐっている状況であります。

こちらの新木津用水ですが、現在、国が上流からと下流からと改修工事を始めております。新木津用水、つまり薬師川、木津用水の断面は、今の1.5倍程度になりますので、佐久間川の水も十分流れていくと思います。

サイフォンにつきましては、用水の部分もありますので、用水量は確保していくことになる可能性もあると思いますが、流域としましては完全に新木津用水へ流していく計画になっております。

ただ、昨年度の大雨のようにオーバーフローするような事態がありましたので、そのような状況も新木津用水の改修によりある程度、安全度は上がると考えております。

倉知委員　　現状でも一部はサイフォンで木津用水に流れている。

落合委員　　それをなしにしてはいけないのですか。

平手副会長　　新木津用水の改修というのはいつ頃終わるのですか。

梶田課長　　計画は33年と聞いておりますが、東田中、二重堀等、下流側の状況を見ておりますと、自分の感覚としては少し遅れているのではないかと感じております。

以上です。

平手副会長　　改修というのは、川底を深くするのですか。

鈴木係長　　おおむね1メートル程度、河床が下がると聞いております。今現在、カインズホームの東辺りを見ていただくと、それがしっかり見える状況になっております。流量としては1.5倍くらいになると聞いております。

以上です。

平手会長　　その他、ご意見はございませんか。

美濃輪委員　　全体の話を書きませんが、岩崎山の仮換地が大分進んだようですが、区画整理は何%くらいの進捗率なのですか。95%と聞いて

ているのですが、95%から進んでないですよ。それはなぜですか。

梶田課長 今、95%から進んでいないのではないかとのご質問がございました。こちらは道路整備率で挙げさせていただいております。昨年度も数十メートルずつの工事を行ったところではありますが、岩崎山北西部、名鉄小牧線沿いの部分が大変多うございまして、進捗を%で表示すると大変小さな数字となっております。まずは、建物移転に係る補償を進めまして、造成、その次に道路となりますので、しばらくは道路のパーセンテージとしては上がらない形での報告になると思っております。

以上です。

美濃輪委員 岩崎山の仮換地が一応できたわけですが、あの一画はいつから整備するのですか。

梶田課長 まずは建物の移転補償を進めた後、整備したいと思っております。移転補償に関しましては、来年度から交渉に入り、その後、交渉の進捗状況を見ながら、擁壁、造成いわゆる土を掘る工事を進めていきたいと思っております。岩という状況がありますので、それらも踏まえ進めたいと思っております。

以上です。

平手会長 事務局からのその他の質疑は終わりました。

もう一度、全体の事業計画の図面を見せていただいて、先ほど課長がおっしゃった事業の進んでいない箇所と今後の予定を教えてください。それと、もう20数年経っていますから、この辺りでちょっとここがどうだということがあれば、ご質問いただく時間を設けたいと思います。

これが事業計画の全体図ですね。東の方がまだ未整備ですね。東とどこでしたか。岩崎山はもうこれで終わりますからね。

梶田課長 今、会長から言われました岩崎山の北西部につきましては、先ほど説明した内容となっております。

それと名鉄小牧線沿い、この地区の南東の方で移転補償の交渉をしておりますが、遅れた状況になっております。

それと、岩崎東区会館の辺り、こちらにつきましては、新木津用水の改修と併せて、県道を横断するボックスカルバート、

水路の改修工事も行いたいと思っております。

もう一つ、先ほど現在の検討状況の説明をさせていただきました2号緑地と書いてありますトーモクさんの東側の雨水調整池ですが、事業費としてはかなり大きな工事が残った状況になっております。

まずは、岩崎山が工事、補償を進められる状況になりましたので、そちらを進めていきたいと考えています。

以上です。

平手会長 全体の事業について何かご質問がありましたら、この機会にお願いします。

美濃輪委員 南の方で話が進んでいないところもあるようです。もう何年も経っているから、そういう問題のあるところについては、何らかの法的手段を採るのですか。

梶田課長 こちらにつきましては、現在も数名の方の建物がありますので、今年度も引き続き交渉を進めております。最終的にどうかと言われれば、そういう方法も取らざるを得ないかと思いますが、基本的には誠意をもってお話をして事業を進めていきたいと考えております。

美濃輪委員 そうですね。あくまでも話し合いで解決してもらわないといけないと思います。法的手段を採ると、やはり何かと後でいろいろ残りますから、話し合いで解決してほしいと思います。これは地元の要望です。

平手会長 その他、全体について何かございませんか。

美濃輪さんもよろしいですか。

美濃輪委員 言っても解決できないから、言っても無駄。

平手会長 その他よろしいですか。

なければ、これで質疑を終了といたします。

ご発言もないようですので、これをもって本日の審議会は終了いたします。

どうもご苦労さまでした。